

ようこそ松戸向陽高校へ

ご入学おめでとうございます。

私たちは、松戸向陽高校を、「あたりまえのことがあたりまえに出来る生徒を育て、教師としてやるべきことをしっかりやる、学校も保護者もそれぞれの役割をキッチリと行なう」学校にしたいと考えています。

そして、何よりも真面目に努力する生徒を認め、励まし助け合う集団であってほしいと願います。真面目に頑張る子を冷やかしたり邪魔したりする生徒は要りません。中学生の時の成績や行動に、反省することや改善の余地があったなら、直せばいいと思います。学力が不足していても心配はありません。学ぶ意欲があれば良いのです。学校は、授業はもちろんですが、掃除、部活動、行事、委員会活動など様々な場面で、友達や教師などと人間関係を学び、成長していく場です。また、社会に出るための訓練の場でもあります。高校生活で何か一つでもしっかりと学び、身につける気持ちさえあればいいと思います。

入学した今日、この日を皆さんのスタートにしましょう。

少人数授業やTTで学び直し、進路実現を目指します

向陽高校では、学び直しのプログラムを入れました。いくつかの教科で、TTや少人数授業を行なって、基礎学力の補充を行ないます。さらに充実させていく方法を考えているところです。進路実現のためには、学習面で基礎・基本を固め、学力を上げる必要があるからです。また、大学入試の60パーセントは中学校段階の学習内容であるとも言われています。特に英語は中2までの文法要素が重要です。中学校の学習内容を習得しておく必要があります。基礎が出来てないところに家を建てられないのと同じで、高校の学習に入る前に徹底した基礎固めが必要です。その学び直しを1年次にしっかりと行なえるようにします。

家庭学習の習慣を、10分からでもいいので定着させましょう。毎日少しずつ継続することを心がけましょう。最初は教科書を開くだけでもいい、あるいはその日のノートを開いて読み直すだけ、問題を一つ二つ解く、それだけでもいいのです。家で勉強する習慣を身につけることが大事なのです。

頭髪・服装・挨拶・掃除・ルール・遅刻・欠席指導の徹底

社会のルール、マナーの遵守は大人になる最低限の条件です。高校生活の中での簡単なルールが守れずして社会人になれますか？遅刻や欠席が多い人を企業は選びません。大学も同じです。また、試験前に茶髪を黒染めするのは、やはり茶髪は望まれていないからです。黒や濃紺のスーツで行くのも同じです。子ども達自身もそのことを知っています。

あえて茶髪にしたりピアスを開ける、化粧をすることをなぜ親が許すのですか？また、ご家庭で挨拶や礼儀を教えずして誰が教えるのですか？

保護者とともに学校も厳しく社会生活の基礎基本、常識を根気強く指導してまいります。また、教育相談を充実させ、子どもたち一人一人に向き合った、「厳しくそして温かい」指導を行ないたいと考えています。

茶髪にしたい、ピアスを開けたい、化粧をしたい人はお断りです。そうしたことは、親から精

神的にも経済的にも自立し、自分で自分の生活を支え、責任を負えるようになってからで十分です。今は、学生としての本分である学習や部活動、委員会活動等で知恵や体力や人間関係等を、学び鍛えることが先決です。勘違いしてはなりません。

資格取得の推奨 学校、企業と連携した進路指導の充実

多くの大学・短大、専門学校、地元企業と関係を結んでいます。これからはますます、就職が難しい時代になります。ただ単に大学に行けば良いわけではありません。目標もなく進学しても、卒業しても職に就けない状況が出てきます。

資格や技術を身につけることが、これからは必要です。そのためには進学先も将来設計・人生設計をしっかりと考えた上で決定する必要があります。入学後早い段階から進路指導を充実させ、保護者に対する情報、ガイダンスも重要です。現在も多くの学校と連携し模擬授業や学校説明会を開催していますが、実際に大学を訪問し、施設見学や模擬授業を行なっていただくことも約束できております。皆さんの力がつけば、幼稚園教諭、保育士や教員といった比較的人気の高い職種への就職も、1年次から意図的に指導し、質の高い大学や専門学校に進学させ、実現させることが出来るでしょう。そのための学校間連携は既に約束しております。千葉県内の大学・短大・専門学校は堅実な学校も多く、進路実績のしっかりした学校を責任を持って紹介いたします。

また、インターンシップを活用し、早くから職業意識を高め、特に企業や福祉施設での体験は就職活動にも良い結果をもたらすことが出来ると思います。向陽高校は福祉教養科があり、福祉関係の進学、就職では本人さえ努力を怠らなければ、確実に進路目標を実現できます。普通科の生徒でも福祉教養科のネットワークの恩恵を受けることも出来るよう、努力すると良いでしょう。インターンシップやボランティア体験を早い時期から継続して行い、福祉や保育の現場を知り、職業選択の情報の一つに考えたら良いと思います。

福祉関係、幼児教育・保育・特別支援・小学校等教育関係、理学療法・介護関係等福祉教養科の生徒だけでなく普通科の生徒にもお勧めしたい分野の職業です。これからは福祉や教育、あるいは農業・工業という産業の振興、特に技術を育てる視点が必要になると思います。人が人と関わり、自然と関わる事が求められていくと考えます。「大量生産・大量消費」から「ものづくり・人づくり」の時代になっていくと思います。

「福祉社会に貢献する人材の育成」松戸向陽高校の進む道は、まさしくそこにあるように感じています。

松戸向陽高校を理想の学び舎に創るには、私たちだけではなく、生徒・保護者・地域の力が重要です。

学び合い、支え合い、認め合い、鍛え合う、厳しく温かい学校づくりに、お互いに努力していきましょう。

新学期を迎える皆さんへ

皆さん、入学、進級おめでとうございます。

皆さんは、この4月、希望に満ちた春を迎えるはずでした。

しかし、この春は、私たちに、とてもつらい春になってしまいました。

御存じのように、3月11日、あの未曾有の大地震と津波が日本を襲ったのです。

皆さんの中にも、ご家族を亡くされたり、あるいはいまも避難所から学校に通ったりしている生徒さんがいることでしょう。

避難所の中では、皆さんが率先して、お年寄りや身体の不自由な方を助け、掃除をしたり、食事の準備をしたりしてくれているという話をたくさん聞いています。皆さんがボランティアで活躍しているという知らせも、たくさん届いています。本当にありがとうございます。

直接被災をした皆さん。皆さんは、十代のもっとも人間が成長する時期に、この大きな試練に立ち向かわなければならなくなりました。

いま抱えているすべての悲しみや不安から、完全に逃れることはできないかもしれませんが、でもいつか、皆さんが、その悲しみと向き合えるようになる日まで、学業やスポーツ、芸術文化活動やボランティア活動など、何か一つでも夢中になれるものを見付けて、この苦しい時期を乗り越えていってもらえればと願います。

学校は、あらゆる面で、皆さんが、この逆境を乗り越えていくためのサポートをしています。

災害にあわなかった地域の生徒の皆さんにも、お願いがあります。

どうか、皆さんの学校にやってくる、避難してきた仲間たちを温かく迎えてあげてください。すぐ近くに、そういった友達がいなくても、遠く離れて不自由な生活をしている同世代の友達を、同じ仲間、友達だと思ってください。そして、被害を受けた仲間の声に耳を澄ましてください。

この大震災を通じて、日本国と日本社会は、大きな変化を余儀なくされます。この大震災からどうやって国を立て直していくのか。自然と共生して生きてきたはずの日本社会が、その本来の姿を取り戻すためには何が必要なのか。

もちろん復興の過程では、「がんばろう」という元気なかけ声が必要です。しかし、それと同時に、新しい社会、新しい人間の絆を作っていくために、大きな声にかき消されがちになる、弱き声、小さな物音にも耳を澄ましてほしいのです。

東北が生んだ詩人宮沢賢治は、科学と宗教と芸術の力で、冷害・凶作の多かったこの東北地方の農民を、少しでも幸せにしようと考え、そのことに一生を捧げました。

どうか、他人の意見もきちんと受け止めながら、自分で合理的な判断ができる冷静な知性を身に付けてください。しかしそれだけではなく、他人のために折り添える、温かい心も育んでください。そして、芸術やスポーツで人生を楽しむことも忘れないでください。

宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』には、こんな言葉があります。

「僕、もうあんな暗の中だつてこわくない。きっとみんなのほんとうのさいわいをさがしに行く。どこまでもどこまでも僕たち一緒に進んでいこう」

賢治の言う「ほんとうのさいわい」とは何でしょう。この大きな災害と混乱の中で、皆さんに、このことを考えて欲しいのです。

もしも、それを皆さんが本当に真剣に考えてくれるなら、きっと皆さんは、どこまでもどこまでも、一緒に進んでいけるはずです。そしてその先には、もっともっと素晴らしい新しい日本の国の姿があるはずです。

忘れないでください。一緒に進んでいくのは、決して日本人だけではありません。今回の東日本大震災では、世界中からたくさんの支援が寄せられています。また、この非常時にあっても秩序正しく、理性を失わない日本人の姿に、世界中が驚き賞賛の声をあげました。私たちは、世界と共にいます。

原子力発電所の事故に対して、危険をかえりみずに立ち向かう消防士や自衛官、電力会社の人たちの姿。各地の被災地で、救命救急活動にあたった警察官や医療関係者、そして何より、本当に命がけで皆さんを守ってくれた学校の先生たちの姿を忘れないでください。そして、みなさんも、もっともっと身体を鍛え、判断力を養い、優しい心を育んで、他人のために働ける人になってください。

日本の未来は、皆さんの双肩にかかっています。

あなたたちのその笑顔、ひたむきな表情が、いま家族や地域の人々を支えようと懸命にがんばっている大人たちに、勇気と希望を与えています。

私たちも、全力で、皆さんの支援に取り組みます。

本当の幸せを求めて、一緒に歩いていきましょう。

内閣総理大臣 菅 直人

文部科学大臣 高木 義明